

令和6年度高総体壮行式にあたり

校長 森 武晴

今年度の高校総体は、31日（金）「長崎市かきどまり」にて総合開会式が行われ、翌日の1日から各競技が始まります。今年度もそれぞれの会場で、活気のある熱い戦いが繰り広げられることでしょう。

今大会スローガンは、「今こそ 解き放て 情熱を 掴みとれ 勝利を」です。この大会スローガンや 試合で躍動する姿が力強く描かれたポスターは、皆さんと同じ高校生が考えたものです。競技は当たり前ですが、大会期間中、スローガンやポスターも意識してもらいたいと思います。

さて、本校からはここにいる皆さんが、8つの競技にエントリーしています。各競技において、これまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮してくれるものと期待します。「最後まであきらめない。上位入賞を目指す」、という思いで、大会に臨んでください。

先日、Bリーグ、長崎ヴェルカの最終戦のテレビ中継を見る機会がありました。最終の第4クォーターは一進一退の接戦となり、93-93の同点で終了。その後、5分のオーバータイム（延長戦）となりました。ここでも、オフェンス、ディフェンスの攻防となりましたが、最後、ヴェルカが3点の差をつけて、勝ちを掴みかけました。しかしながら、残り5秒のところで、相手にスリーポイントを決められ、またもや同点で終了。そして、2回目のオーバータイム。そこでは、「勝ちたい！」という思いが強かったヴェルカが常にリードを保って追いすがる相手チームを振り切り、最終的に105対102の僅差で勝利を掴むという結果となりました。

勝つために、常に努力を続け、試合が終わるまで、あきらめることなく、そして、「最終戦を是非とも勝利で飾りたい！」という情熱・思いをもって臨んだことが、この勝利を生み出したと私は思います。

皆さんは、これまで、この高校総体で勝つために、そして、練習してきたものを発揮できるよう、努力し、励んできたことと思います。皆さんも、先程のヴェルカの最終戦のように、決して最後まであきらめず、勝利を目指して、試合に臨んできてください。皆さんのこれまでの努力の結晶を発揮してきてください。

最後に、高総体は、「県内の高校生の品位が問われる時(とき)、品位が問われる場(ば)」でもあります。つまり、マナーや礼儀、モラル、高校生らしい振る舞いなどが、多くの人に見られている、ということです。

ここにいる、「選手」はもちろんのこと、「控えの人」も「マネージャー」も含めて、そして、「応援に行く生徒の皆さん」も、島農生としての誇りをもって、この高総体期間中は全員がしっかりそれぞれの役割を果たしてほしいと思います。

皆さんの健闘を祈ります。

令和6年5月（高校総体選手壮行式 校長あいさつ）